

政策

1

地域経済の原動力である「産業」が躍動するまち！

農商工の基盤を強化し、各産業が連動する、活力と賑わいあふれるまちを創ります。

ピックアップ

「土地改良センター」と連携し、農業基盤整備を推進します。

御園南部	18億円	R4～R11
御園北部	49億円	R6～R14
御園中部	46億円	R7～R18
円山	25億円	R3～R11
富士	66億円	R5～R13
北学田中部	38億円	R9～R17
北学田北部	67億円	R10～R21
北学田南部	54億円	R12～R21



道営事業による円山地区基盤整備

ピックアップ

持続可能な農業基盤づくりを目指し「国営による基盤整備事業」を推進します。

未整備地域等を国営による基盤整備事業の推進に取り組みます。



政策

1

地域経済の原動力である「産業」が躍動するまち！

農商工の基盤を強化し、各産業が連動する、活力と賑わいあふれるまちを創ります。



ポジポと連携した「行政ポイント事業」を拡充し、商店街の活性化と経済の地域内循環を図ります。



●まちづくり応援ポイント クリポ 対象メニューの追加（令和8年10月追加予定）

- ・ 出生ポイント
- ・ 森づくり事業への参加
- ・ スポーツ推進イベントへの参加



●公共施設利用の検討

- ・ 公共施設利用に伴うポイント発行
(図書館利用、スポーツセンタートレーニングルーム利用など)
- ・ 施設使用料、利用料の支払いへ充当



支え合うすべての「町民」が心安らぐまち！

地域社会全体で支え合う仕組みを構築し、すべての町民が健やかで生きがいを感じるまちを創ります。



除排雪事業や町営バス事業の拡充など、快適に暮らせる生活環境づくりを推進します。

●業務・支援体制の見直しと担い手の確保

- ・計画的な除雪車両の更新や定期的な除排雪路線の見直しなど

●ICT 活用による作業効率化

- ・GPS除雪管理システム等による作業の効率化や負担の軽減

●積極的な情報発信（交換）

- ・新たな除雪体制の検討、協議
除雪連絡協議会（仮称）を設立し、町民、行政、事業者による地域ぐるみの除排雪体制を検討

●町民ニーズの把握

- ・アンケート調査などでニーズを把握し、新たな施策を検討



政策

2

支え合うすべての「町民」が心安らぐまち！

地域社会全体で支え合う仕組みを構築し、すべての町民が健やかで生きがいを感じるまちを創ります。



オンライン診療や訪問診療など、将来を見据えた医療供給体制の確保に取り組みます。

●栗山赤十字病院の改築

- 令和7年11月 4日 新病院での開業
- 令和8年10月25日 グランドオープン

※翌26日より、新病院の玄関や駐車場の利用が可能になります。



●栗山赤十字病院の取組み

12診療科を確保し、在宅医療を継続していくための医療提供と、療養生活支援の充実を図ります。

- 令和7年11月：地域包括ケア病床 14床に増床
- 令和8年 1月：南部地区巡回診療開始

●在宅医療体制の充実

オンライン診療や訪問診療など在宅医療体制の充実に向けて、医療機関と連携し検討していきます。



政策
3

未来を担う「子どもたち」を育むまち！

子育てを地域全体でサポートし、子どもたちが将来に夢・目標を持って成長できるまちを創ります。

ピックアップ

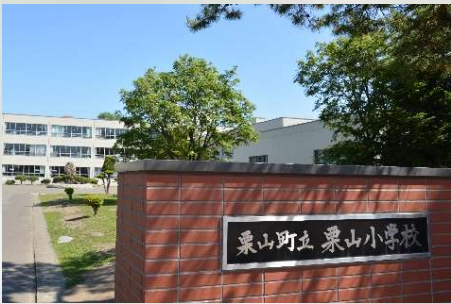
子どもたちに質の高い教育環境を確保するため、町内3小学校の統合を進めます。

ピックアップ

将来的な新校舎の整備に向けた、調査・検討を進めます。

●整備推進（予定）

- 令和8年度 栗山小学校、栗山中学校校舎の『耐力度老朽調査』を実施
- 令和9年度以降 整備構想の策定
学校整備方針策定委員会の設置
整備方針の決定（新築 or 大規模改修 or 長寿命化）



政策
3

未来を担う「子どもたち」を育むまち！

子育てを地域全体でサポートし、子どもたちが将来に夢・目標を持って成長できるまちを創ります。



子どもや保護者などを切れ目なくサポートする「こども家庭センター」を開設します。

こどもや保護者が支援者と相談しやすい（助けてと言える）関係性をつくり、問題が深刻化する前にしっかりサポート

●さまざまな専門職がいる強みを活かした 安心・安全な子育て支援体制の構築

現体制

（課題：場所が点在）

栗山町役場

- 住民保健課 健康推進グループ
- 福祉課 高齢者・介護・医療グループ
- 福祉課 福祉・子育てグループ（子育て・障がい）

警察署となり

- 子育て支援センター

総合福祉センター内

- 子ども発達サポートセンター

相談支援機能の集約

母子保健業務

児童福祉業務

子育て支援センター

子ども発達サポートセンター

連携

教育委員会

令和9年度
から移行

妊娠期から18歳までの切れ目のない相談支援体制の強化を目指す。

こども家庭センター

●センター長

相談支援機能強化
（マネジメント）

●統括支援員

社会資源を活用した支援のマネジメントや必要な助言

母子保健機能と児童福祉機能の一体的支援の調整

●母子保健機能（保健師等）

妊産婦及び乳幼児の健康保持・増進に関する包括的な支援

●児童福祉機能（保育士等）

こどもと子育て家庭（妊産婦含む）福祉に関する包括的な支援

●児童福祉業務

●子ども・子育て支援事業計画の遂行

かけがえのない「財産」を未来へ継承するまち！

受け継がれてきた栗山の豊かな自然・歴史・文化の魅力を共有し、未来へと繋ぐまちを創ります。



関係機関・団体と連携し、「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の取組を推進します。



生物多様性の保全区域として国が認定する「自然共生サイト」の登録を目指します。

●ネイチャーポジティブとは

- 「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」ことで、環境にとってポジティブ（プラスの状態）にしていくという考え方
- 自然環境保全の取組だけでなく、経済、社会、政治、技術までの全てにまたがって改善を促していくことで、自然を豊かにしていくという趣旨でもある

●環境省「自然共生サイト」の認定に向けて

- パンフレットを制作し、ネイチャーポジティブの実現に向けた機運を高める。
- 現地視察や講演（イベント）の開催
- 協議会（中核組織）の設立

さらに、

「環境基本計画」の策定や「環境基本条例」の制定に向けた資料収集・調査研究を行います。

政策

4

かけがえのない「財産」を未来へ継承するまち！

受け継がれてきた栗山の豊かな自然・歴史・文化の魅力を共有し。未来へと繋ぐまちを創ります。



まちの魅力向上や、関係・交流・定住人口増加に向けたプロモーション事業を展開します。

●プロモーション事業の展開

様々な角度から栗山町を紹介する動画を制作し、魅力向上や関係・交流・定住人口の増加、ふるさと納税の寄附額の増額につなげます。

- ・複数自治体のSNSチャンネルを共同運営し、InstagramやYouTube、TikTokなどで発信
- ・動画撮影、編集、SNS運用、マーケティング業務を実施



政策
5

町民と行政が連携し「未来」を創造するまち！

様々な地域課題に対応するため、町民と行政が共に考え、行動し、持続可能なまちを創ります。

ピックアップ

窓口のキャッシュレス化や証明書のコンビニ交付など、サービス向上のためのデジタル化を推進します。

●お支払いがキャッシュレス対応に

住民票などのお支払いをキャッシュレスで決済できるように、役場出納室、住民グループの窓口専用端末を設置します。クレジットカードや、電子マネー、QRコードでの支払いが可能になります。



キャッシュレス
決済端末



POSシステム搭載
セミセルフレジ

ピックアップ

スマートフォンアプリを活用した町政情報の発信に取り組みます。

●LINEを活用した情報発信

個人のニーズにあわせた情報発信と、オンラインによる予約や申請機能を導入します。



政策
5

町民と行政が連携し「未来」を創造するまち！

様々な地域課題に対応するため、町民と行政が共に考え、行動し、持続可能なまちを創ります。

ピックアップ 女子野球タウン事業の取組などにより、女性活躍の推進及び地域活性化を図ります。

●目的・活動内容

- ・女子野球の普及
- ・地域活性化
- ・社会的貢献



○ジェンダー平等とエンパワーメント

- ①指導者・アンバサダーの育成
女性指導者の講習会を開催し、女性がスポーツ界でキャリアを築ける環境を提示する。
- ②「女子スポーツの壁」の払拭
女子選手が中学・高校で野球を諦めなくて済むよう、地域全体で受け皿（クラブチーム等）を構築する。

○持続可能な地域づくり（SDGs）

- ①多世代交流
女子選手と町内の子どもたちや高齢者との交流イベント（野球教室、健康体操など）を通じたコミュニティの活性化。
- ②既存資源の有効活用
女子野球の合宿所やトレーニング施設として再編し、地域資源の有効活用を図る。